

高松市子ども・子育て支援に関するアンケート調査票（案）に対する  
御意見および回答

No.	調査票	指摘箇所	いただいた意見	事務局回答
1	就学前	全般	質問数が多いため、内容を統合するなどして量を減らしてはどうか。	できるだけスリム化を検討したい（問52の削除など）
2	就学前	P0	《子ども子育て支援制度の3つのポイント》 「1. ～幼稚園と保育所の良さを併せ持つ…」 誘導する文章であり、カットするか「良さ」を「機能」に替える。	「良さ」を「機能」に修正。
3	就学前	P0	「1. ～認定こども園・幼稚園・保育所を通じた共通の給付…」 高松市で現在、就学前の子どもを多く預かっている施設順に並べる。保育所・幼稚園・認定こども園の順にする。	幼稚園・保育所・認定こども園の順に変更（国の示す定義にあわせる）。 ※このアンケートにおいて、他の設問で幼稚園・保育所・認定こども園の並びが違うものについても、整合性をあわせるため修正する。
4	就学前	P0	「2. ～保育所認可制度の改善、小規模保育…」 認可制度に悪いところはなく、改善はおかしいのでカットする。	「保育所認可制度の改善」を「市町村の保育所認可の見直し」に修正。
5	就学前	P0	国の調査票のイメージ1Pにある「回答するに当たってお読みください」に記述されていないことが説明されている。	子ども・子育て支援新制度の概要等について回答者に理解してもらうため記載した。
6	就学前	P0	「施設型給付」「地域型保育給付」を創設とあるが、意味が分からない。	「施設型給付」および「地域型保育給付」を削除。
7	就学前	P1	（用語の定義） 高松市で現在、就学前の子どもを多く預かっている施設順に並べる。保育所・幼稚園・認定こども園の順にする。	幼稚園・保育所・認定こども園の順に変更（国の示す定義にあわせる）
8	就学前	P1	幼稚園・認定こども園・子育てに「教育」が入っており、保育にはそれがない。一般の人には保育の定義がわかりにくいので、保育とは「養護」と「教育」であることを明示すべき。保育所にも就学前教育があることを示してほしい。	保育所の定義中、2つ目の「保育」の後に「（養護及び教育（学校教育を除く））」を追記。
9	就学前	P1	地域子育て支援拠点に概ね3歳未満の子と親が・・・とあるが、年齢に制限のようなものはなかったと思うが。	H24年度末までは、「概ね3歳未満」の表記は「ひろば型」にはあったが「センター型」にはなかった。H25年度に両者が「一般型」に再編され、「概ね3歳未満」と表記されている。

No.	調査票	指摘箇所	いただいた意見	事務局回答
10	就学前	P 1 の下半分	国の調査票のイメージ2 P の子ども・子育て支援の意義や制度の趣旨・考え方の説明（子育てに関する親の一義的な責任，就学前における人格形成の重要性などについての図）を記載すべき。どうしてこの図を排除するのか。	国の調査票にあるイメージ図を用語の定義の上に掲載する。
11	就学前	P 6 （問7-1）	上記に※幼稚園・保育所・認定こども園については1 P の用語の定義を参照。とあるが，例えば「保育ママ」は，どのような資格を持った者が預かるのか一般の人にはわからない。	「保育ママ」の表記を削除（問7，問8）
12	就学前	P 7 （問8）	上記に※幼稚園・保育所・認定こども園については1 P の用語の定義を参照。とあるが，保護者負担についてや申し込みの仕方について，認可保育所・幼稚園・認定こども園のそれぞれの違いがわからない。	保護者負担については，国の調査票のイメージで「（自治体における料金設定を示す）」とあることから，他市の表記方法等も参考に，本市の保護者負担額について記載する。申し込みの仕方については，現在，国においてその手続きについては検討中のため，アンケート調査においては記載していない。なお，具体的な利用手続き等については，国から示され次第，改めてHP等により周知を行っていきたい。
13	就学前	P 1 2 ～ 1 4 （問15～18）	設問15～18は現在進行形に変換し、小学生用のアンケートに移設しても良いのではと思います。	就学前では，この質問は国の必須。
14	就学前	P 1 4 （問18）	（名称の訂正） 3. およこのへやアネックス（平安保育園） 10. ももか子ども支援センター（円座百華保育園） 19. めだかのがっこう（中野保育所）	意見のとおり修正。
15	就学前	P 1 4 （問19）	支援拠点事業に，私立幼稚園子育て支援を項目に入れてほしい	問19は，国の指定する特定事業である「地域子育て支援拠点事業」についての掲載項。
16	就学前	P 2 2 （問41）	「選択肢 1. 教職員の専門性や資質の向上」 保育士，幼稚園・学校の先生に変更。問39の選択肢3に合わせる。	「教職員」を「幼稚園や保育所の先生」に修正。併せて，問37の選択肢4，問39の選択肢の3も「保育士，幼稚園・学校の先生」を「幼稚園や保育所の先生」に修正。
17	就学前	P 2 2 （問41）	「3. 特別支援教育・保育の推進」の項目に下記のように「障がい児」を入れて欲しいです。 ↳ 3. 特別支援教育・障がい児保育の推進	意見のとおり修正。

No.	調査票	指摘箇所	いただいた意見	事務局回答
18	就学前	P 2 5 (問52)	事業名等の所に「特別支援教育・障がい児保育」も加えて欲しいです。	問52はスリム化により削除。
19	就学前	その他	「事業の利用には一定の利用者負担が発生します。」とあるが、金額が明記されていない以上判断できない。	国の調査票のイメージ内に「(自治体における料金設定を示す)」とある設問については、他市の表記方法等も参考に、本市の保護者負担額について記載する。
20	小学生	全般	実は就学前児童よりも、共働き家庭等にとって子どもの放課後の預け先や時間の利用方法について困難や悩みが多いのは小学生の子どもを持つ家庭ではないかと思えます。その部分を調査する設問を増設してほしいです。(※前述の就学前児童用の設問15～18の移設も考え方のひとつかと思えます。)	問7の「～どこで過ごすことが多いですか。」の次に、「また、希望としては、どこで過ごさせたいですか。」の質問を増設する。また、選択肢のうち、放課後児童クラブは「有料」、放課後子ども教室は「保険料等の自己負担あり」を記載する。
21	小学生	P 1 0 (問23)	選択肢に「防災教育」が必要では。	防災教育にかかる選択肢を増設。
22	小学生	P 1 1 (問25)	「チカン」の表記は必要でしょうか。	「チカン」の表記削除。
23	小学生	p 1 1 (問27)	非常変災時などの安全対策が必要では。	選択肢に「非常変災時などの安全対策」を増設。
24	全体	全般	子育て支援の施設・施策等のハード面に偏りすぎた内容になっているので、子育ての悩み等精神面での支援についての量的アンケート内容をご検討いただきたいです。	国の調査項目も、施設的な整備を視野に入れた量の見込みの把握を重点にしているため、やむを得ない部分もあるが、必須項目以外においては、本市独自の設問も盛り込み工夫している。